



月館 瑞寛 建設部門（土質及び基礎） 農業部門（農業土木）

勤務先：NTC コンサルタンツ株式会社 e-mail：m.tsukidate@ntc-c.co.jp

今年9月に、「ねんりんピック北海道・札幌2009」が札幌市をはじめとする13市3町で開催されました。ねんりんピックとは、60歳以上の高齢者の方々を中心とするスポーツ、文化、福祉の総合的な祭典で、今年で第22回目となります。

スポーツといえば私自身、自分の健康へ気遣いすることも含めて、息子がサッカースポーツ少年団へ入団したことをきっかけに少年団のコーチを務め、日本サッカー協会公認3級審判員の資格を取得して活動しています。

その様な折り、北海道サッカー協会からの依頼でねんりんピックのサッカー審判員のお手伝いすることとなりました。サッカーは、体力の消耗が激しいスポーツです。正直、高齢の方々ではスピード感に無理があるのではと思っていました。ところが、ダッシュ、スライディング、シュートどれも目を見張るばかりのエネルギーがあふれており、そのバイタリティーに感銘しました。

日本は少子高齢化に向かっていると言われていますが、ねんりんピックのサッカー種目を見る限りは活動力にあふれる高齢の方々がたくさんいると確信しました。このような大会は、高齢者の方々の生きがいと地域づくりの重要性からも素晴らしい大会と思います。高齢となってもいつまでも健康は失いたくないものです。大会参加を通して、自分自身の健康維持のあり方を振り返るとともに、今後もあらゆることにポジティブに取り組む精神を思い起こされました。

それにしても、仲間を叱咤激励する声や罵声に迫力があるのはまさに年輪の賜でしょうか。



次号は、柳 浩徳さん（農業部門）



伊藤 寛幸 農業部門（農村地域計画）

勤務先：株式会社ルーラルエンジニア 札幌支店

読者の皆さんの専攻はなんですか？ 多くの方は、自然科学、それも、農学、工学などの応用科学が専門ではないでしょうか？ 農学、工学は、まさに、この業界の主流であり、経済学を専攻する私にとりましては、憧れや嫉妬に似た感情を抱く存在なのです。とはいえ、エンジニアエコノミストとしての自覚と誇りをもって業務に従事しております私は、農業農村整備事業の事業評価業務に携わっております。この事業評価では、皆さんも既にご存知の、費用便益分析が一般的に用いられております。そして、この費用便益分析という分析ツールは、（経済学には全く興味がない読者の皆さんにとりまして）ごくごく身近な存在であることをご存知でしょうか？ 費用便益分析の理論のひとつに“功利主義”があります。“功利主義”のスローガンは「最大多数の最大幸福」であり、「最大多数」という言葉から「民主主義」が誕生し、そして「最大幸福」という言葉から「資本主義」が誕生したといわれております。いわゆる“数の論理”と“経済の論理”ですね。経済システムが疲弊し、ふたたび経済が注目されているいま、「金銭は第六感のようなもので、これがないと他の五感も満足に働かない。」（モーム）という名言が私自身ひどく身に沁みる今日、皆さんも是非身近な経済に触れてみてください。でも、技術士の資格を有する賢明な皆さんは、巷のエコノミストのように“昨日予測したことが、今日起こらなかった事を、明日になって気づく人”になってはいけませんよ。



次号は、倉内 寛さん（農業部門）